

令和5年度（2023年度）第3回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和5年（2023年）12月16日（土）9:30~12:00
場所	長房小学校 1階 プレイルーム
出席者	参加者：縣、宇田、鈴木、塚本、中嶋、西山、本堂、野副、森、森本、山陰、松葉、大谷、田名網、中島 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 シルバーふらっと相談室長房：光富 はちまるサポート長房：合崎 第1層生活支援コーディネーター：今泉 市地域づくり担当：伊東、興梠、松下、和田
配布資料	・資料1 活動団体（地域づくり団体）の設立に向けた検討 ・資料2 活動団体（地域づくり団体）の会則（案） ・資料3 取組の振り返りと検討・テーマ別意見交換 ・参考資料 八王子市地域づくり団体の届出に関する要綱

## 1 開会

事務局より挨拶、資料確認

## 2 事務局からの報告

### (1) 前回の振り返り

(振り返りの内容)

- ・ 前回は、前半に昨年度の長房小学校6年生（現在中学1年生）に総合的な学習の授業で「長房のまちづくりや発展、自分の未来について考えよう」というテーマで行ってきた学習の成果として「未来の理想の長房」について、推進会議で発表を行っていただいた。
- ・ 後半は、推進会議の機能・役割と今後の推進会議の活動について、市の要綱で設置している推進会議（行政内部）の範疇で活動を行ってきた中で見えてきた課題に対応するため、活動団体を推進会議（行政内部）から切り離した形で設立することで、課題に対応していく。市との関係性については、新たに策定した「地域づくり団体の届出に関する要綱」に基づき、活動団体から届出をいただき、市がそれを確認することで、引き続き支援を行っていく形で整理した。
- ・ 活動団体については、部会は設けず、活動や取組のプロジェクトごとに核となるメンバーを中心に組織全体で行っていく。また、プロジェクトの企画や参加者及び市役所との連絡調整を行うこれまでの役員会のような組織を設ける。
- ・ 本日は、役員会で話し合った活動団体の会則（案）を踏まえて、内容の検討と団体の設立に向けた手続きについて、ご説明させていただく。

### (2) 第2回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会について

(説明内容)

- ・ 10月27日に開催した第2回懇談会では、基本方針の改定に向けて、事務局からとりまとめたいきたい内容の骨格をお示しした。

- ・ 新しい基本方針には、地域づくり推進事業の必要性を明示したうえで、地域づくり推進事業で何に取り組んでいくのか。八王子未来デザイン 2040 に掲げる地域自治に向けてどのような体制がふさわしいのか。3つの項目を掲げ取りまとめていきたいと思っている。
- ・ 改定に向けた具体的な作業としては、推進会議の検証ということを大きく掲げている。これまでの取組を通して見えてきた課題だけでなく、本日実施する推進会議参加者向けアンケートや市民向けに実施したアンケートの結果等の分析を踏まえて、地域づくりの必要性を改めて考えながら、庁内外での議論を深め、新しい地域づくりの形を検討していきたい。
- ・ 新しい地域づくりの形としては、「楽しい」「満足」と感じられる取組を継続して行うことの重要性や、推進会議をコアにしながらか地域が緩やかにつながること、地域内外の資源を活用しながら魅力的な取組を行うこと、これまで手の付けられていなかった地域が抱える困りごとについても解決の糸口を見つけて行政につなげる役割を果たすことなどを柱として示している。
- ・ 次回の第3回の懇談会は、来年1月22日に開催する予定。

(長房中学校から参加している野副氏から報告)

- ・ 現在、推進会議を設置している川口・みなみ野・南大沢中学校区の参加者からそれぞれの地区が抱える課題や意見を聞くことができる貴重な機会になっており、大学の先生等の学識経験者からのお話しも、非常に勉強になる。
- ・ 活動団体を設立した際には、他の中学校区と連携して活動を行うことも良いのではないかという思いがある。
- ・ 懇談会で議論した内容等については、今後も皆さんに共有していきたい。

### (3) 推進会議参加者を対象としたアンケートの実施について

現在進めている地域づくり推進基本方針の改定にあたって、推進会議に参加していただいている方々の意見をしっかり反映して地域づくりのあるべき姿を検討していくため、アンケートを実施した。

## 3 取組の報告

### (1) 10月28日開催 はちやめちゃハロウィン大冒険について

- ・ 東団地隣輪クラブ、ひまわりサロン長房、長房東アパート暮らし隊を中心にはちやめちゃハロウィン実行委員会を作り、約半年間の準備期間を経て実施した。令和6年度からは推進会議が実施主体として開催するため、参考とするべく23団体の協力団体の一つとして参加し、八王子市の後援をもらった。
- ・ 当日の参加者は約600名(内訳:子ども約350名、大人約250名、地域別にみると都営団地から約230名、船田町約100名、その他市内から約270名)で、昨年度の約4倍の参加者が来場した。従事者は92名の方に参加いただいた。
- ・ 東団地集会所を受付として使用し、メイン会場である中舟田公園に出店を16店設置し、5つのエリアに分けて実施した。その他、児童館では竹馬体験、カインズの駐車場ではスタンプラリー、コピオ長房のデッキではマルシェ、2階では抽選会を実施した。抽選会では、スーパーアルプス、カインズ、BASELから提供いただいた景品を子どもたち中心に提供した。
- ・ 費用は、約20万円をはちやめちゃハロウィン実行委員会の団体と東アパート連絡協議会から支

出した。

- ・ 成果としては、準備の段階から多くの団体に協力をいただいたこと、人や物が集まる「賑わいの場」となったこと、協力団体や来場者の間で「新しいつながりの機会」ができたこと、地域住民と企業の新たな連携の形を見いだせたことなどがあった。
- ・ 課題としては、来年度以降、推進会議から新たに立ち上げる活動団体が主体となって開催する際には、各ブースを統括できるよう連携を取っていくこと、新たな担い手として、若い人に参加してもらえるようなイベントにしていくことなどがあった。

#### (2) 12月2日開催 みんなの食堂について

- ・ 12月2日にスーパーアルプスと BASEL に食材を提供いただき、第2回みんなの食堂を開催した。
- ・ 6月10日の第1回目の反省点を活かし、子どもたちの並ぶ導線を確保する等の工夫をすることでスムーズに開催することが出来た。
- ・ 12月7日に支え合い部会を中心に反省会を行った。次回の第3回（3月2日）の開催に向けて今後も話合っていく予定。
- ・ 過去2回については、長房学童に通う児童・生徒を対象に開催した。役員会では、みんなの食堂の趣旨も踏まえ、対象者を広げるべきではないかといった議論もあるが、食材や会場を借りる資金がなく、従事者が経験値を積むことも必要なため、試行的な取組として実施している状況がある。来年度以降については、船田学童に通う児童・生徒など対象を広げて実施していきたいと考えている。

#### (3) 1月27日開催 キャリアデザイン教室について

- ・ 子どもたちに早いうちから将来の職業について、考えていく機会を提供してあげたいという趣旨で、推進会議参加者から提案のあった新しい取組。
- ・ 市が間に入って長房小の校長先生と調整を行っている。学校からの提案で、試行的な取組として1月27日の学校公開日の授業でゲストスピーカーとして講義を行う予定。
- ・ 推進会議の新たな取組とするため、令和6年度以降も全体会や役員会で状況をしながら進めていきたい。

### 4 活動団体（地域づくり団体）の設立に向けた検討

活動団体の設立に向けた検討後の推進会議の進め方について、資料1を用いて、事務局より以下のとおり説明した。

（説明内容）

- ・ これから設立する活動団体の会則について、役員会で議論し、作成した案をお配りしている。皆さんから御意見いただき、合意できれば、次回2月24日開催の推進会議で団体の設立総会を行い、最終的な会則や役員承認などの手続きを行って団体の設立という形をとりたい。
- ・ この団体設立を行った後は、活動は設立した活動団体で行い、推進会議は議論や情報共有の場として、現状の地域課題に関する話や地域の情報共有、将来的な「地域自治」といったことなどを話し合う場としていきたい。

- 「八王子市地域づくり団体の届出に関する要綱」について

設立した活動団体（地域づくり団体）を市に届け出ることについて、その手続きを定める要綱（「八王子市地域づくり団体の届出に関する要綱」）が12月1日付で施行となったため、資料として配布し、要綱の概要について説明を行った。

（説明内容）

- ・ この要綱は、推進会議の取組をもとに活動するための団体（地域づくり団体）を設立した場合に、それを市に届け出てもらい、市が要件を確認したうえで、団体に対して確認書を交付するという手続きを定めている。
- ・ 第2条「届出の対象となる団体」の第1項各号で、推進会議としっかり連携して、推進会議の議論をもとにした活動を行う団体が届出を行うことができるということを定めている。
- ・ 本要綱に基づき届出をしていただく際には、市と調整をしながら行っていければと考えている。

（意見）

- ・ この要綱の中に補助金についての記載がないがどのように考えているのか。  
⇒（市）地域づくり団体の届出と補助金制度については、併せて検討を行っているが、補助金制度については予算の裏付けが必要なため、別途補助金の交付要綱を定める予定でいる。
- ・ 住民協議会と位置付けが似ていると感じるが違いはあるのか。  
⇒（市）設立に係る経緯に違いはあるが、他の中学校区でも、同じような団体を立ち上げるのかといった意見もある。地域にある既存団体との関係性についても、4つの中学校区の活動を踏まえながら整理していくことが必要だと思っている。
- ・ 防災活動など既に自治会や住民協議会で各々に実施している活動もあるが、活動によっては地域で一緒にやっていくことも良いのではないか。  
⇒（市）既に地域で行っているイベント等についても、はちゃめちゃハロウィンのように推進会議が関わることによって地域で広く開催できる可能性もある。活動組織をそういった形で活用していくのも良いのではないか。
- ・ 推進会議の取組は中学校区単位で行っているが、住民協議会の圏域と異なる。本当は同じ圏域の方が活動に支障が出ないのではないか。  
⇒（市）本日お配りしたアンケートに取組の単位についての設問を設けている。現在行っている基本方針の改定作業行っているので、いただいた回答を参考にしながら、取組の単位については柔軟に対応していきたいと考えている。

- 会則の検討について

資料1及び資料2をもとに、事務局より役員会での議論の内容を振り返りつつ、会則（案）について説明した。

（説明内容）

- ・ 第1条 団体の名称については、若い人にも興味を持ってもらえるような固い感じのしない名称がいいのではないかと意見の踏まえ、35個の候補を役員会で用意した。他の項目が決まってから議論する。

- ・ 第3条 事務所については、無償で借りることのできる拠点が見つからなかったため、現時点では会長宅とした。
- ・ 第7条 会費については、会員が必ず納めなくてはならない「会費」という形ではなく、自由に納めることができる「協力金」という形がいいのではないかという意見もあり、1口500円2口までとした。
- ・ 第10条 役員については、役職と人数は、会長1名、副会長2名、会計1名、監査役1名、総務1名の合計6名とした。選出方法については、会員の互選をにより選出し、総会の承認をもって選任する。役員の互選をもって役職を決めるとし、任期については1年だが再任は妨げないとした。
- ・ 役員については、やりたいという方がいないようであれば、初めは推進会議の現在の役員会のメンバーで担っていくのがいいのではないかという話をしている。役員をやっても構わないという方がいたら申し出てほしい。
- ・ その他の条項については、一般的な団体の会則を参考にしながら作成した。

(意見)

- ・ 第7条の協力金については、1口500円までとしているが、2口まででは少ないのではないか。また、企業や団体からの寄付金があった場合はどのような扱いになるのか。  
⇒(市)協力金の金額については、皆さんで同意できる金額であれば何口でも良いと考えている。企業や団体から寄付金については、第14条 経費の寄付金の規定で応じられると考えている。
- ・ 会員については、どのような要件を設けているのか  
⇒(市)第6条 構成において、長房中学校区地域づくり推進会議の参加者の他、活動への参加を希望する個人及び法人その他の団体として、活動に関心のある方が広く参加できるような形で規定している。
- ・ 構成員に変更があった場合の手続きはどうなるのか  
⇒(市)代表者や役員等の大きな変更がなければ、変更届の提出は不要と考えている。
- ・ 第3 事務所については、探すのは難しいと思うが、活動の拠点となる場所があった方がいいのではないか。  
⇒(市)活動の拠点については、引き続き課題として捉えており、役員会でも検討してくるので皆さんからも情報提供をお願いしたい。

(名称について)

名称については、参加者間で意見交換を行った後、多数決で「長房の未来をつくる会」に決定した。  
多数決の結果(参考)

- ・ 長房の未来をつくる会 9名、明日の長房 3名、ながふさ未来デザイナーズ 1名、未来の長房をつくる会 1名

## 5 取組の振り返りと検討及びテーマ別の意見交換

資料3 取組の振り返りと検討・テーマ別意見交換のテーマから、各参加者に希望のテーマを選んでいただき、テーマごとにグループをつくって意見交換を行った。

### イベントのこと①

- ・ 10月に行ったはちゃめちゃハロウィン大冒険は、思っていた以上に大きな規模で開催することが出来たので、継続して開催していきたい。
- ・ マルシェについては、どこの場所でやるか等を引き続き検討を行っていく。
- ・ 来年度は新たに立ち上げる活動団体での活動が中心になってくるので、団体の人数構成、活動のスケジュールについても検討をしていきたい。
- ・ イベントの開始にあたっては、地域の企業との連携、団地周辺の未利用地の活用、若年層への働きかけについても検討を行っていく必要がある。
- ・ みんなの食堂についても、イベントの1つとして連携して行っていくこともいいのではないか。

### イベントのこと②

- ・ 地域の現状について、情報の共有を行った。
- ・ 高齢者が多く、イベントをやってほしいという声はあるがやれる人（リーダー）がいない。
- ・ 若い人の誘い込みが必要なので、声掛けを工夫してやっていきたい。
- ・ 学校の再編の話が進んできた際には、いずみの森義務教育学校を見て参考にしたい。
- ・ 端午祭りについては、住民協議会で声掛けをしながら開催している。そうした活動も新たに立ち上げる活動団体でやっていくのも良いかもしれない。

### みんなの食堂のこと

- ・ これまで2回開催してきたが、「みんなの」という広く地域住民を対象とした取組とするという部分に関しては、会場や食材の制約からチャレンジすることができなかった。
- ・ 館ヶ丘で活動している食堂では、自治会と連携し、自治会が東京都の補助金で購入した「自転車タクシー（移動支援事業）」を活用して、地域の「食」と「移動」の課題に取り組んでいる。そうした取組を参考にすることもできるかもしれない。
- ・ 他の会場で開催することについても支援してもらえる企業があるかどうか話をしてみるのも良いのではないか。
- ・ 次回の第3回（3月2日）の開催に向けて引き続き検討していく。

## 6 その他の連絡事項

野副氏から所属する消防団について以下のとおり報告があった。

- ・ 今年度、防災団に新規入団が5名あった。今まで減少する一方だったが、何とかしようという意気込みで本気で誘い込むことで若い加入者が増えた。推進会議でも同じ事ができると思っているので、積極的に活動していきましょう。

## 7 閉会

以上